

科 目 名(Subject)	情報システム戦略論 II (IT Strategy and Management II)		
単 位 数(Credits)	2 単位	開講時期	前期
担当教員名 (Name)	深田 秀実 (Hidemi Fukada)	研究室番号 (Office)	433
Office Hours	随時（ただし、事前に電子メールで来訪を連絡すること。）		

1. 授業目的・方法(Course objective and method)

本講義では、情報システム戦略を企画するための方法論や技法を学習する。まず、情報システムに関するシステム企画フェーズで必要となる知識を学習し、それを踏まえて、システム開発計画書（RFP）とシステム提案書の作成技法を学習する。授業は基本的にはゼミ形式とするが、後半は演習形式を取る場合もある。

2. 達成目標(Course Goals)

現代社会において情報システムは社会基盤となっており、行政や企業といった組織における諸活動を支える上で必要不可欠なものとなっている。本授業では、情報システム戦略(IT 戦略)における、より実践的な知識を習得することを目的とし、システム提案書を作成できることを目標とする。

3. 授業内容(Course contents)

(1) オリエンテーション

- ・講義授業の進め方、報告担当者の決定など

(2) 情報システム開発の概要[1]

- ・情報システムとは、情報システムの役割

(3) 情報システム開発の概要[2]

- ・システム開発プロセスモデル

(4) 情報システム開発の概要[3]

- ・モデル化技法

(5) 情報システム開発の概要[4]

- ・企業情報システムの事例、主な業務用システムにおける受発注の流れ

(6) 情報システム開発の概要[5]

- ・情報システム開発の進め方

(7) 情報システム開発の概要[6]

- ・情報システムの開発体制

(8) 情報システム開発計画書(RFP) の作成[1]

- ・システム開発計画書の位置付け

(9) 情報システム開発計画書(RFP) の作成[2]

- ・システム開発モデル

(10) 情報システム開発計画書(RFP) の作成[3]

- ・システム開発アプローチ

(11) 情報システム開発計画書(RFP) の作成[4]

- ・システム開発計画のスケジュールリング

(12) 情報システム提案書の作成技法[1]

- ・システム提案書の位置付け

(13) 情報システム提案書の作成技法[2]

- ・提案依頼書の概要

(14) 情報システム提案書の作成技法[3]

- ・システム提案書の作成事例

(15) まとめ

- ・情報システム開発の将来展望

4. 事前学修・事後学修(Preparation and review)

事前学修として、講義において提示する項目を各自調べておくこと。事後学修として、講義に学んだ内容を各自整理しておくこと。

5. 使用教材(Teaching materials)

教科書は特に定めない。各回の講義または演習に対応した資料を配布する予定。また、講義中において参考図書を紹介する。

6. 成績評価の方法(Grading)

- | | |
|-----------------|-----|
| (1) 授業への参加および報告 | 50% |
| (2) レポート | 50% |

7. 成績評価の基準(Grading Criteria)

- ・秀（100～90）：情報システム開発について秀でた理解力がある。
- ・優（89～80）：情報システム開発について優れた理解力がある。
- ・良（79～70）：情報システム開発について理解力がある。
- ・可（69～60）：情報システム開発について最低限の理解力がある。
- ・不可（59～0）：情報システム開発について最低限の理解力がない。

8. 履修上の注意事項(Remarks)

授業内容は、担当教員によるひとつの案です。受講生の人数や希望等により、話し合いで内容などを変更する可能性があります。そのため、履修希望者は、初回のオリエンテーションに出席して下さい。

また、授業方法は対面方式を予定しておりますが、状況によってリアルタイムオンライン方式に変更する場合があります。

なお、本講義の履修を予定している学生は、事前に担当教員へ電子メールで連絡して下さい。

(担当教員メールアドレス：fukada@res.otaru-uc.ac.jp)